

かがくタイム 教室要項

対象 年長児

指導形態 正課時間内 1 クラス一斉指導

指導回数 年間 12 回
※開設月や日程はご相談の上、決定します。

指導時間 1 回 60 分

費用 講師派遣料 1 クラス 1 回あたり
 ~ 20 名 23,000 円 (税別)
 21 ~ 30 名 24,000 円 (税別)
 31 ~ 35 名 25,000 円 (税別)
 ※別途教材費用はいただきません。
 ※ 1 クラス最大 35 名とさせていただきます。

- 使用する教材は基本的に当社にて用意いたしますが、はさみ・クレヨンなど、園様の用品をお借りする場合があります。また、実験テーマにより、実験の環境づくり（教室準備）にもご協力をお願いいたします。
- 教材の園保管や、指導回毎の配送にご協力ください。



ご導入園様の声

子どもたちがイキイキとして本当に楽しそうです。「明日は科学の日だよ」と伝えると、とても喜び、盛り上がります。

興味・関心やその時点での発達は子どもによりさまざまですが、どの子ども、その子どもの発見や楽しさがあるのが素晴らしいと思います。

普段、発言が少ない子の積極的な発言や、知識を披露をする姿にいつも驚いています。「身近な素材」といっても、園でこれだけの教材・カリキュラムを準備することは大変です。安全面にも配慮があるので安心してます。

小学校高学年になった卒園生が「園で科学をやっていたから、理科が得意なんだ!」と話してくれました。

科学を取り入れていることを、園の特色としてアピールできています。保護者からも好評なので園の見学日にあてています。

教室の様子をホームページで紹介しています!
<http://www.gakken.jp/playroom>

ぜひ
ご覧ください



お問い合わせ・お申し込み 体験レッスンを実施しています。お気軽にお問い合わせください!

株式会社 学研教育みらい 幼児教育事業部

☎ 0120-113-344

電話受付 月~金 9:00 ~ 17:00
(祝日を除く)

〒141-8416 東京都品川区西五反田 2-11-8
<http://www.gakken.jp/playroom>

学研プレイルーム

検索 🔍

めいびがまなび

学研幼児教室

正課コース

かがくタイム



専門指導員を派遣いたします

Gakken

好奇心いっぱいの幼児期の子どもたちに

科学の発見 驚き 感動を!

発見

テーマは生活の中にある現象や道具、自然と関連しています。日々の中に不思議を発見して「なぜ?どうして?」と考えたり、身近にあるものを工夫して使ったりする姿勢を身につけていきます。



感動

“かがくタイム”は実体験を大切にしています。実物を目の前で見て、自分で操作し、発見したり考えたりすることが大きな経験となり、これからの学びの基礎となります。



驚き

実験で感じた驚きを表現できる素直さも幼児期ならではの魅力です。好奇心いっぱいで、理解力も高まってきているこの時期だからこそ、科学のおもしろさを体験させてあげたいと考えています。

“科学の学研”が
自信をもって
ご提供いたします。

大切にしていること

1 身近な素材や現象を扱います。

- “かがくタイム”の実験での経験が、身近な生活と関連していることに気づかせます。
- 経験したことを、これからの学びや生活に、どうかすかにもつないでいきます。

2 子どもたち自身の気づきを重視します。

- 子どもたち自身の発見や気づき、「やってみたい」「試したい」という気持ちを大切にします。

3 小学校での学びにつないでいきます。

- 三法令(※1)の「幼児期の終わりまでに育ってほしい具体的な姿」や小学校学習指導要領の方向性、STEAM教育(※2)を意識してカリキュラムを組み立てています。

4 科学的な思考力を育てます。

- 筋道を立ててものごとを考える力、自分なりに課題を解決していく力を育成します。



※1 三法令…「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」

※2 STEAM…Science, Technology, Engineering, Arts, Mathematicsの頭文字。これらの考え方や能力を有機的なつながりでとらえ、身につけていくことが、21世紀社会を生き抜くための学び、「STEAM教育」です。



● 課題を順序だてて進め、理解を深めていきます。

年間カリキュラム (一例)

指導テーマは、開室月やご要望に応じて、園様と相談の上、決めさせていただきます。



テーマ	タイトル	内容
1	鏡	鏡の不思議ワールドへようこそ 大小の鏡を使って、映り方の変化や不思議さを楽しみます。
2	空気砲	空気のかたまりを発射! 空気砲を使って、空気のかたまりを飛ばしたり、形を観察したりして遊びます。
3	磁石	引き合う、離れる!磁石パワー 様々な磁石を使って、磁石の引き合う力、反発し合う力を確かめたり、磁石がくっつくものを探したりします。
4	振動	ふるえる力で動かそう 身の回りにたくさんある振動。振動を起こして、いろいろなものを動かし、そのおもしろさを味わいます。
5	音	いろいろな音を出してあそぼう いろいろな道具を使って音作りに挑戦し、普段何気なく聞いている音がどんな仕組みで出ているのか考えます。
6	ロケット	回転ロケットを飛ばそう カッコいい風船ロケットを飛ばします。回転しながらよく飛ばすにはどうすればよいか、一人ひとり工夫します。
7	錯視	みんなの目はふしぎ 同じ大きさや長さのものが違って見える目の錯覚や、アニメの原理にも結びつく残像を体験します。
8	空気・摩擦	ジャンボバルーン・スライダー ジャンボバルーンに空気を入れたり、スライダーを作って滑らせたりして、空気をテーマに実験を行います。
9	凧	紙だけで作った凧を飛ばそう 折ると強くなる紙の性質をいかして、凧を制作します。凧が飛びやすくなる工夫について考えます。
10	静電気	こするとまされる不思議な力 子どもたちは、目には見えない不思議な力が大好きです。静電気を発生させ、いろいろなものを動かします。
11	磁力・大気圧	くっつくもの くっつかないもの 「くっつくもの」というテーマで、これまで経験したことを振り返りながら進める横断的な実験です。
12	立体視・補色	色のふしぎをたのしもう 赤いフィルターを通してものを見たり、立体的に見える絵を描いたりして、色の不思議にせまります。

※教材の一部は、教室の成果としてお持ち帰りいただきますが、安全管理などの理由により、持ち帰り教材がないテーマがございます。ご了承ください。
※カリキュラムや教材は変更される場合があります。

指導の流れ (60分)

導入

子どもたちの気持ちを高め、目的のテーマに導くために、手品のような実験や、身近な生活に密着した話から実験に入ります。

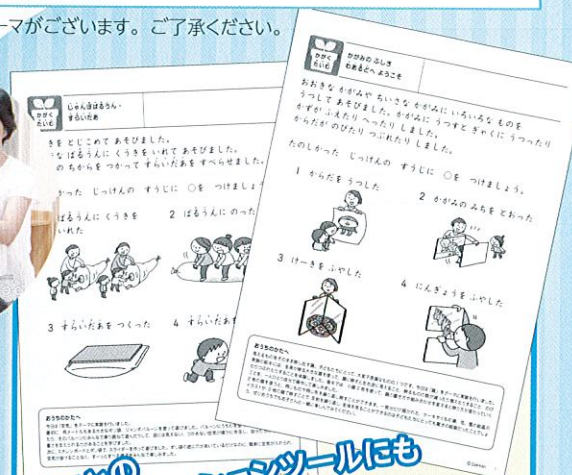
実験

演 示
全 体
個 人

テーマに沿った実験や課題を、順序立てて進めます。まず指導員がやって見せ(演示)、お友だち同士で協力して取り組み(全体)、そして、個人でじっくりテーマに向き合います。一人ひとりが自分自身の実体験として、課題に取り組めることを重視しています。

まとめ

楽しかった実験を、レポートで振り返ります。



ご家庭との
コミュニケーションツールにも
かがくタイムレポート



子どもたちの振り返りに使用しますが、おうちのかたへ指導の内容をお伝えするものでもあります。

